

おひさまだより

令和2年12月1日発行

横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

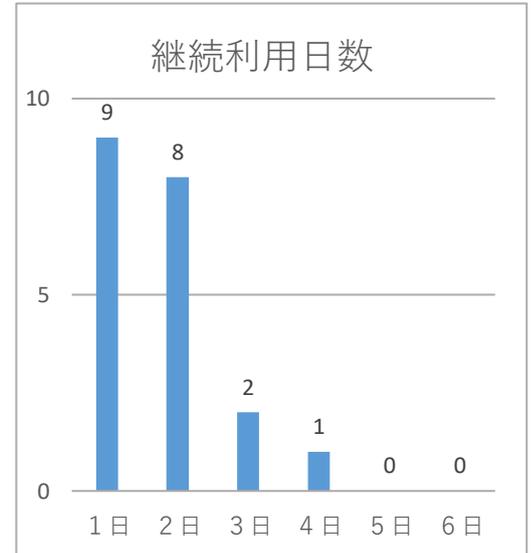
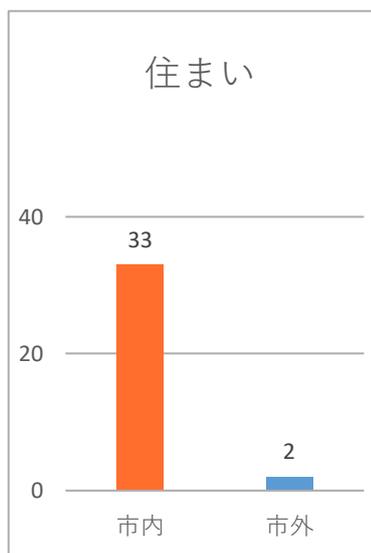
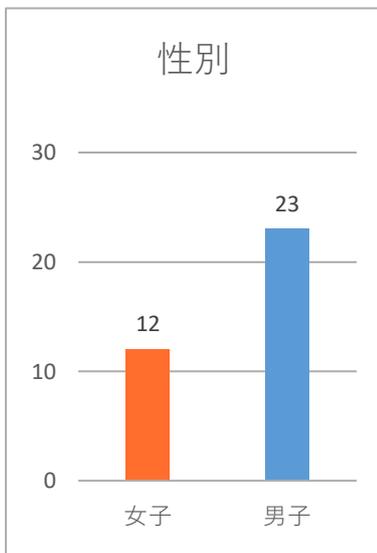
ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>



気温もぐっと下がり、いよいよ冬の訪れを感じる頃となりました。早いもので今年もあと1ヶ月、待ちに待ったクリスマスももうすぐですね。おひさまでもツリーやお部屋の飾りつけをしました。この季節ならではのワクワク感を一緒に味わえたらと思っています。楽しい年末を迎えられるように、手洗い、うがいをしっかり行い、体調管理にも気を付けて行きましょう。

先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 11月分



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	1	4	3	3	7	4	0	22
咽頭結膜熱	0	5	0	0	0	0	0	5
おたふく疑い	0	0	0	0	0	0	4	4
クループ	0	0	0	0	0	0	2	2
溶連菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	1
耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	1	9	3	3	7	5	7	35



※ 併発している疾患もすべて含む。

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	5	1	0	2	1	9
溶連菌感染症	3	3	3	0	1	10
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	0	0	4	2	0	6
ノロウイルス	0	0	0	1	3	4
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	8	4	7	5	5	29



咳や鼻水が多い時のホームケア

冷たい風が吹き、そろそろ雪が降ってきますね。寒くなると乾燥する時期です。乾燥していると咳が出やすくなるため、室内の湿度を50～60%を目安に加湿しましょう。加湿器がない場合は、洗濯物や濡れタオルを干して加湿する方法もあります。

鼻水が溜まっていると痰がからみ、咳き込んで嘔吐を誘発させる可能性があります。自分で上手に鼻がかめるようになるまでは、鼻吸器を使うと楽になります。鼻吸いの刺激で吐くことがあるので、食前や哺乳前に行うと効果的です。

咳や鼻水で食事が十分に摂れない時は、脱水予防のために糖分や塩分を含んだ飲み物（イオン飲料や経口補水液など）を摂るとよいです。一気に飲んだり食べたりするとむせこんでしまうことがあるので1口ずつゆっくりあげましょう。食べ物はパサパサしたものより、水分が多いものや、喉ごしがよいもの（お粥、ゼリー、ヨーグルトなど）の方がよいです。

少しでも症状が緩和されるといいですね。



インフルエンザとコロナウイルス流行に負けないように！

11月になり、急激に気温が下がる日が増えてきました。風邪や胃腸炎が流行している保育園・幼稚園が見受けられます。感染症予防対策をきちんと行い、規則正しい生活を心がけましょう。

インフルエンザとコロナウイルスの同時流行に備え、インフルエンザの予防接種を受けていない子どもさんは12月中に受けてください。子どもはコロナウイルスにかかっても重症化はほとんどしませんが、知らないうちに感染し重症化しやすい高齢者に感染させる可能性もあり、子どもさんもしっかりと予防対策（マスク、手の消毒など）を取りましょう。